

一世を風靡したYMOのメンバーだった高橋幸宏と坂本龍一が相次いで亡くなり、ファン(私はお二人それぞれの活動のほうがYMOよりも好きでしたが)の一人として気分がふさがちな夏を迎えました。そして、7月11日には作曲家・指揮者の外山雄三さんの訃報がありました。およそ一カ月前のコンサートの最中に体調不良のため降板し、その後はご自宅で療養なさっていたそうです。享年92ですから、現役のまま天寿を全うしたと言えるでしょう。

1980年前後にYMOが世界を席卷するより20年ほど前の1960年、外山雄三率いるNHK交響楽団は世界一周コンサートを行います。そのアンコール用に外山さんご自身が作曲された「管弦楽のためのラプソディ」は世界中のクラシックファンを熱狂させたといえます。

もう15年ほど前になりますが、その外山さんが仙台フィルハーモニー交響楽団の音楽監督をつとめられていた頃、あ

る雑誌の対談でお目にかかりました。外山さんは「子どもの頃に〈仙台の伯母〉と呼んでいたお宅に遊びに来たことがあります。いま思えば、あれは土井晩翠家でした」と仙台との縁などをお話ししてくださいました。

もちろん、クラシック音楽の話も大いに盛り上がったのですが、「君は詳しいね」とおだてられた私は調子に乗って「音楽は第二の専門ですから」と応じたのです。厚顔無恥とはこのこと、恥ずかしい思い出です。

10年前、岩手県民会館で外山さんがNHK交響楽団を指揮したコンサートの後で楽屋へお邪魔したときは、「お、岩手のディレタントが来てくれた」と顔をほころばせました。楽団員には厳しくて、鬼のように恐れられていた外山さんですが、我々ファンにはとても優しい紳士でした。あの穏やかな眼差しと上品な語り口を私は決して忘れることはないでしょう。

道の駅 石神の丘からのお知らせ

産直 石神の丘

9:00-18:00
TEL 0195-61-1600



パッケージを リニューアル!

広い空と緑に囲まれた岩手町で丁寧に育てられたブルーベリーが本格カレーに出会いました。

岩手町ブルーベリー
ビーフカレー **中辛**
(一人前200gレトルトパック)

864円(税込)

レストラン 石神の丘

10:30-18:00 (L.O.17:30)
TEL 0195-61-1602



石神の丘 松花堂弁当

1,570円(税込)

黒内豆腐揚げ出し、石巻産さくら真鱈の西京焼き、やまと豚しゅうまい、やまと豚コロッケ、石巻産ひらめとねばり芋タキの刺身、ねばり芋のピシソウズ、茶わん蒸し、岩泉ヨーグルトブルーベリーソース添え など

交流のある宮城県・石巻産の食材を使用
※ご予約は2日前までをお願いします



石神の丘
美術館

Ishigami Museum of Art

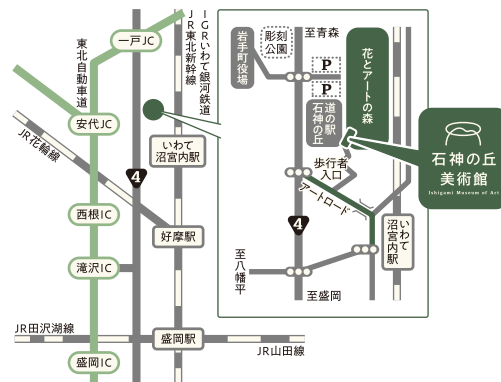


〒028-4307

岩手県岩手郡岩手町大字五日市10-121-21
TEL 0195-62-1453 FAX 0195-62-1477

開館時間 9:00~17:00 (最終入場 16:30)

休館日 月曜日 (月曜日が祝日の場合その翌日)
年末年始 (12/29~1/3)



Ishibi



Ishigami Museum of Art
30th anniversary

石神の丘美術館通信 イシビ

2023. 9 Vol.237



三沢 厚彦 《Animal 2018-03B (カモシカ)》 2020年 ブロンズ、ウレタン塗料

この秋、石神の丘美術館では「開館30周年記念展 三沢 厚彦 ANIMALS in ISHIGAMI no OKA」を開催します。全国各地の美術館で個展を開催している彫刻家・三沢厚彦氏が手がける動物彫刻シリーズ《ANIMALS(アニマルズ)》は、当館野外エリア「花とアートの森」にも5点設置され人気を集めています。この展覧会では、館内企画ギャラリーで、近作を含む三沢氏の木彫や絵画を紹介します。

石神の丘美術館開館 30 周年記念展

三沢 厚彦 ANIMALS in ISHIGAMI no OKA

2023.9.23 SAT — 11.26 SUN

開館時間：9:00～17:00（最終入場16:30）

休 館 日：毎週月曜日（月曜日が祝日の場合その翌日）

観覧料金：一般 300円／高校生以下無料（要学生証提示）

○〈花とアートの森〉共通観覧券：9/23～10/31まで 一般 700円／高校生以下無料
11/1～26まで 一般 500円／高校生以下無料

○11/3（金・祝）「文化の日」は観覧無料です

｜関連イベント｜

三沢厚彦さんと歩く、作品鑑賞ツアー

日時：9月23日（土・祝）13:30～15:00 ※予約不要／要共通観覧券

参加希望の方は共通観覧券をお求めの上 ホールにお集まりください。

*状況により入場制限を行う場合がございます

石神の丘美術館開館30周年記念 特別呈茶

日時：10月1日（日）10:00～

※お茶券は当日9:30から美術館受付にて配布します（先着30名）

開館30周年を記念し、有志の皆さんによる呈茶（お抹茶とお菓子のおふるまい）をおこないます。

デジタルスタンプラリー《アニマルズに会いにいこう》

会期中毎日 野外エリア〈花とアートの森〉で開催 ※要共通観覧券

野外エリア〈花とアートの森〉の5体の三沢厚彦作品近くにある二次元バーコードを、お手持ちのスマートフォン等で読み込みデジタルスタンプを集めた方に、オリジナルポストカードをプレゼントします。参加は無料です。

特設ミュージアムショップ

会期中、美術館ホールではポストカードや海洋堂の限定フィギュアなど三沢厚彦 ANIMALSグッズを販売します。



©Misawa Atsuhiko Courtesy of Nishimura Gallery

三沢 厚彦（みさわ あつひこ）

1961年京都府生まれ。1989年東京藝術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻修了。2000年より樟を彫り油絵具で着色した等身大の動物彫刻「ANIMALS」シリーズの制作を開始。これまでに全国各地の美術館で個展を開催。第20回平櫛田中賞（2001年）、第41回中原悌二郎賞（2019年）受賞。武蔵野美術大学特任教授。神奈川県在住。

《Animal 2011-03〈ツキノワグマ〉》 2011年 樟、油彩



石神の丘美術館は今年、開館30周年を迎えました。

開館30周年を前に、当館の大きな特徴となっている野外展示エリアは、大規模な改修を行い、〈花とアートの森〉としてリニューアルしました。このリニューアルに於いて、日本を代表する彫刻家のひとり三沢厚彦の作品5点が当館のコレクションに加わりました。

〈花とアートの森〉の各所に設置された《ANIMALS》シリーズは、石神山に生きる野生動物の化身であるかのようにみえると同時に、古くから人々が信仰してきた神使や聖獣としての存在感もそなえており、野外彫刻美術館である当館を象徴する作品となっています。

このたびの展覧会は、館内企画ギャラリーで、近作を含む三沢厚彦の木彫や絵画を紹介するものです。ぜひ、野外エリア〈花とアートの森〉と企画ギャラリー両方をめぐり、異なる空間の中で作品とのであいを 즐기みてください。



《Animal 2018-03〈カモシカ〉》 2018年 樟、油彩
会場／富山県美術館



《Painting 2022-32》 2022年 パネル、アクリル
撮影／岡野 圭

美術館からのお知らせ Information

オリジナル花柄グッズ 好評販売中

開館30周年を記念して、四季折々の宿根草が楽しめる野外エリア〈花とアートの森〉をイメージしたオリジナル花柄を制作しました。花柄はやわらかい曲線で構成され、〈花とアートの森〉で過ごすゆったりとした時間も表現されています。ミュージアムショップでは、この花柄をつかったオリジナルグッズ（レジャーバッグ、スポンジワイプ、ポストカード）が好評販売中です。



《Animal 2020-03〈キメラ〉》
2020年 樟、油彩
会場／あべのハルカス美術館